

“すぐにでも” “だれにでも” できる！

授業配信・オンライン授業のススメ

岡山県教育庁高校教育課
教育情報化推進室



皆様の学校では、災害や感染症による臨時休業や児童生徒の長期の出席停止に備えて、オンラインを活用した指導の準備はできているでしょうか。この資料は、「すぐにでも、だれにでもできる授業配信・オンライン授業のススメ」として、先生方にオンラインを活用した指導のイメージを持っていただくために作成しました。

ICTを活用したオンライン指導

同時双方向型

インターネットを用いて、教員の配信と児童生徒の受講を同時に実施する形態。

〔活用アプリ例〕

Zoom
Meet
Teams 等

オンデマンド型

教員があらかじめインターネット上に資料や音声・動画などをアップロードしておき、児童生徒が都合のよい時間帯に視聴やダウンロードして受講する形態。

〔活用アプリ例〕

Google Classroom
YouTube
Classi 等

課題提示・回収型

オンライン上で課題を提示し、それを基に学習を促して結果を回収し、添削指導を行う形態。

〔活用アプリ例〕

Google Classroom
□イロノート 等

ICTを活用したオンライン指導は、「同時双方向型」「オンデマンド型」「課題提示・回収型」の3つに大きく分類されます。

この資料では「同時双方向型」について詳しく説明します。

同時双方向型は、インターネットを活用し、リアルタイムで、教員側からの配信と児童生徒の受講を同時に実施する形態です。

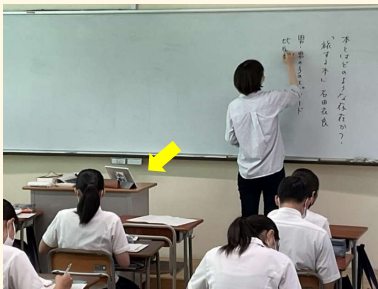
活用アプリ例として、ZoomやMeet、Teams等が考えられます。

同時双方向型

2つのオンライン指導

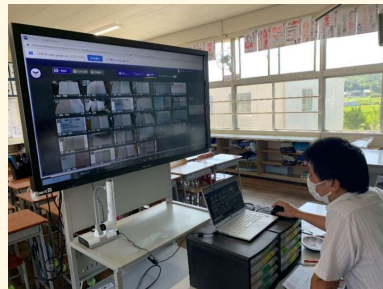
①授業配信

教室で実施される授業を配信
→出席停止等による**一部の児童生徒**が、家庭等からオンラインで授業に参加



②オンライン授業

一斉休業や学級閉鎖等で、**全ての児童生徒**が家庭等からオンラインで授業に参加



同時双方向型のオンライン指導には、2つのパターンがあります。

1つ目は、「授業配信」です。

これは、教室で実施される授業を、そのままオンラインで配信するというものです。出席停止等の児童生徒が、家庭等からオンラインで授業を受講することを想定したものです。

2つ目は、「オンライン授業」です。

これは、一斉休業や学級閉鎖等で、全ての児童生徒が家庭等からオンラインで授業を受講することを想定したものです。

①授業配信について



まず、「授業配信」について説明します。

授業配信に必要な機材



教師用端末

(+ネットワーク)

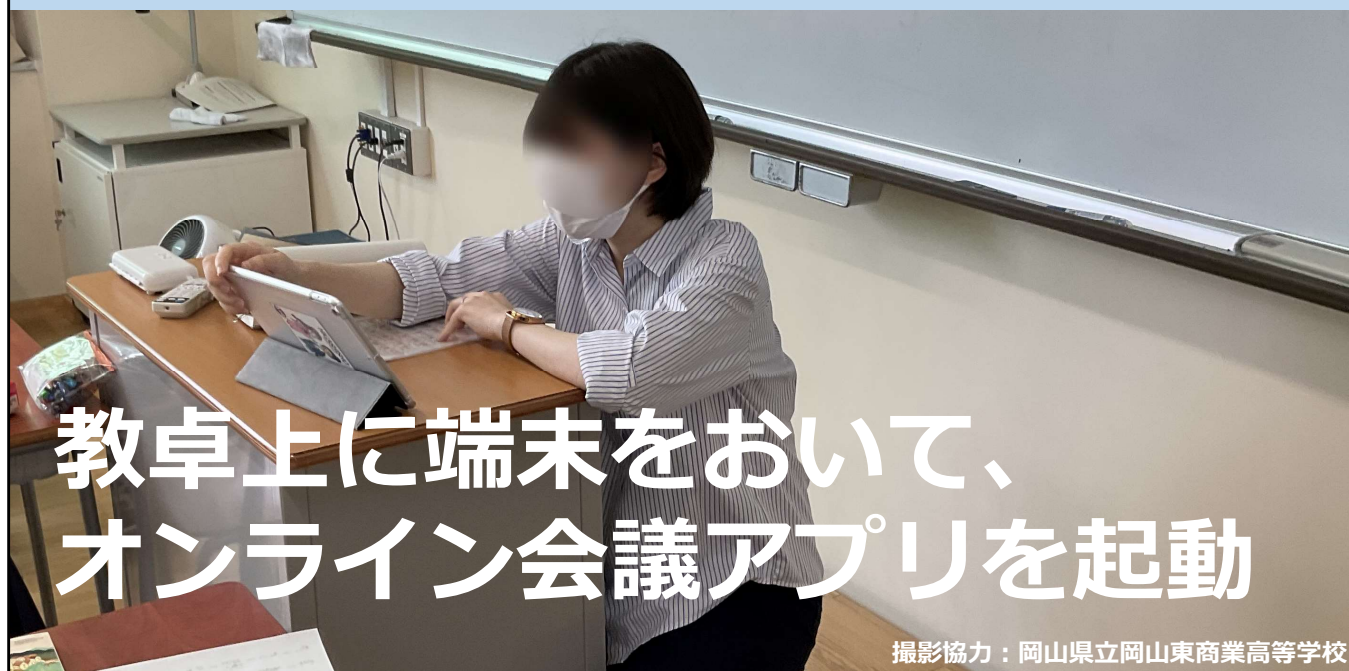
のみ

撮影協力：岡山県立岡山東商業高等学校

授業配信を行う際に必要な機材は、教師用端末(カメラ・マイク内蔵のもの)さえあれば可能です。画面写真のように、教師用端末に内蔵されたカメラとマイクで、そのまま教室の授業を配信することで、一部欠席や出席停止の児童生徒には、教室での授業の様子が伝わります。

家庭でオンラインで受講している児童生徒に対して、教室で受講している児童生徒と全く同じ環境にすることは困難ですが、まずは「教室の授業の様子が、家庭で視聴する児童生徒にいくらかでも伝われば」という意識ではじめましょう。

配信方法



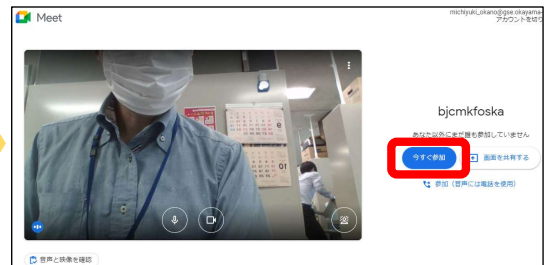
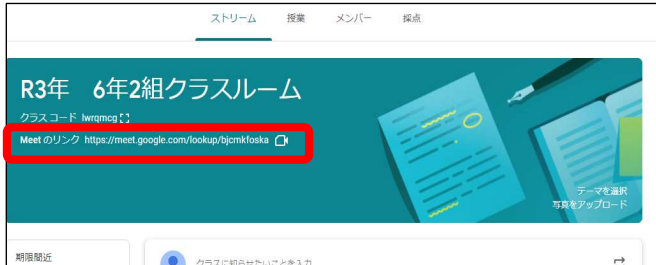
教卓上に端末をおいて、
オンライン会議アプリを起動

撮影協力：岡山県立岡山東商業高等学校

配信は、できるだけ少ない手順にすることをお勧めします。最も簡単な方法として、授業開始時、教卓上に、教師用端末をおき、オンライン会議アプリを起動し、そのまま普段通りの授業を配信します。

配信(受信)方法

※Google Classroomの場合は、上部に表示されている専用リンクを活用することと、ワンクリックで配信(受信)可能



- ・ **教師も児童生徒も、できるだけ少ない手順で配信(受信)する。**
- ・ **事前に、教室や家庭で、接続テストをしておく。**
- ・ **実施後、児童生徒及び保護者の感想を聞き、可能な範囲で改善する。**

Google Classroomを活用する場合は、ストリームの上部に表示されている専用リンクを活用することで、教師も児童生徒もワンクリックでオンライン会議アプリMeetを起動できます。

「事前に教室や家庭で、接続テストをしておくこと」で、いざというときにスムーズな授業配信が可能となります。

実施後には、児童生徒や保護者の感想などを聞き取り、可能な範囲で改善を行いましょう。

②オンライン授業について



次に、オンライン授業についてお伝えします。

オンライン授業に必要な機材



【最低限必要なもの】

- ・ 教師用端末
(+ネットワーク)



【あると便利なもの（例）】

- ・ 大型ディスプレイ
- ・ 配信画面確認用端末
- ・ マイク
- ・ ヘッドセット
- ・ Webカメラ 等

「オンライン授業」は、全児童生徒が家庭等からオンラインで授業を受講することを想定したものです。
オンライン授業も、教師用端末(カメラ・マイク内蔵のもの)さえあれば、実施可能です。

また、「あると便利なもの」として、

- ・ 児童生徒の表情がより分かりやすく表示される「大型ディスプレイ」
- ・ 教師が配信した画面を確認するための「配信画面確認用端末」
- ・ 教師の声を鮮明に配信するための「集音マイク」。もしくは、マイクとスピーカーが一緒になった「ヘッドセット」も有効です。

また、教師用端末の内蔵カメラでも十分配信可能ですが、より板書を鮮明に映したい場合等は、画素数の高いWebカメラを準備することも考えられます。

オンライン授業の例①



- ・ 出席者の確認、健康観察



- ・ 学習の見通しを全体で共有

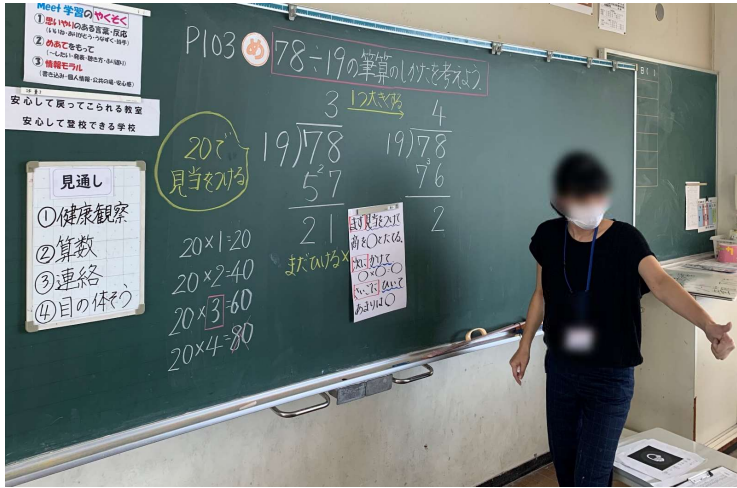
ここから、オンライン授業の具体例を紹介します。

教師と児童生徒が、オンラインでつながり次第、まず実施するのが、出欠の確認と健康観察です。

まずは、学校と家庭とがつながり、児童生徒が安心感を感じられるよう配慮することが大切です。また、児童生徒の体調に変化がないかをしっかりと把握しましょう。

最初に、当日学習する内容を画像のように児童生徒に示し、見通しをもたせることも有効です。

オンライン授業の例②



- まずは、課題の指示や質問等のやりとり（学習支援）から。
→徐々に、授業内容を充実させていく。
- 板書等で示す場合は、普段より大きくはっきりと。
- オーバーリアクションでうなづく！ほめる！

オンライン授業では、最初から教室と同じように、1単位時間を全コマ実施することは、教師・児童生徒ともに大きな負担が生じます。

まずは、課題の指示や、児童生徒からの質問を受け付ける等のオンラインでの学習支援からスタートすることをお勧めします。

お互いにオンラインに慣れたうえで、徐々に、授業内容を充実させましょう。

また、黒板やホワイトボードを使用する場合は、普段より板書を大きくはっきりと示すようにしてください。

教師は、オーバーアクションで、大きくうなづくいたり拍手を送ったりすることで、児童生徒は安心して授業を受けることができます。

また、児童生徒にも同じように、普段より大きくリアクションしてもらうことで、授業がスムーズに進行します。

同時双方向型オンライン指導のポイント

- ・失敗してもOK! まずはやってみる!
- ・大がかりな準備をしない。特に「授業配信」は普段の授業をそのまま配信!
- ・プライバシーに配慮しつつ、可能な範囲で双方向の場面を。

では、同時双方向型オンライン指導のポイントをまとめます。

・「失敗してもOK! まずはやってみる!」という気持ちで取り組みましょう。

そして、

・「大がかりな準備」をしないこと、特に「普段の授業をそのまま配信」することからはじめて、継続的なオンライン指導につなげていきましょう。

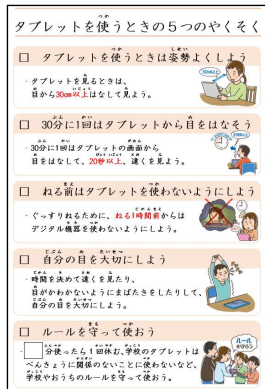
また、状況によりますが、オンライン指導を行う際は、「プライバシーに配慮しつつ、可能な範囲で双方向の場面」を取り入れることで、児童生徒とのつながりが深まると同時に、学ぶ意欲の向上にもつながります。

災害や感染症等による臨時休業や児童生徒の長期の出席停止に備えて、オンラインを活用した指導の準備、実施を行い、緊急時にはできるだけ速やかにオンライン授業に移行できるようにお願いします。

端末を活用する際の目の健康について

端末利用に当たっての児童生徒の健康への配慮等に関する啓発リーフレットについて（文科省HP）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00001.html



目の健康啓発マンガ『ギガっこデジたん！』（日本眼科医会HP）

https://www.gankaikai.or.jp/info/post_132.html



オンライン授業の最後に、目の体操等を行うことで、児童生徒自身が、目の健康について意識を向けるリテラシーが身に付くように配慮する。

最後にお願ひです。

オンライン授業が増加すると、どうしてもメディアに接する時間が増え、目に負荷がかかります。

授業最後に、目の体操等を児童生徒とともにやり、「端末を30分以上使ったら、タブレットから目を離して20秒以上目を休めたり、目の体操をしたりしましょう。」と呼び掛けて、児童生徒自身が目の健康について意識を向けるリテラシーが身につけられるようにしてください。